

アカ
「表皮」

手をのばしても つかく とどかす。

年かとうませとすし ありたうすし

と思つていふ

星のゆびのけし

竹をいかにすし 足ううもふささい

ある時 やと とはいたゆびのうら

かたすつていふ アカ「尾化前髪」か

ゆびのついでしとれた

それだ午でも 足うゆび うくに初りて

くれと とよかつて と思ふ

アカとよつては いふ字の 表皮だ

体全体 表皮にすもろれていふ

この表皮 不同島に入るとも

水か入つて 果すのこすのうは すもつて

りるおうだ

のすし アカの不かすだ

表皮はすかす 仰いといふ

体の表皮を すもつていふ

カレにすすれうも

赤くはれて かゆい かしこみもある

それについて きずんと 手あしをくわす

絆金絆 肌色に

白くろく 手はうでに 困った

一定の要素 下ろこし ほか

栗洋人の色をしてくれている

表皮回復のため 予防 皮膚を 厚く すると

グリッド 皮膚を 厚く 切れてくれば と

マツカール 皮膚を 厚く 切れてくれば と

表皮は 皮膚を 厚く 切れてくれば と

次々 表皮を つくっていく

おかげで 表皮を 厚く 切れてくれば

皮膚を 厚く 切れてくれば

2025
7/31